

消化管がんの臨床検体を用いたリン酸化タンパク質・遺伝子・免疫プロファイリングの有効性の検討

公開文書第 2.2 版作成 2025 年 9 月 3 日

1. 研究の対象

本研究は、国立がん研究センター中央病院において本研究「消化管がんの臨床検体を用いたリン酸化タンパク質・遺伝子・免疫プロファイリングの有効性の検討」にご参加いただいた患者さんのうち、研究または診断や治療のために採取された検体の残余検体が保管されており、遺伝子検査、診療情報および試料の二次利用に同意頂いた患者さんを対象としています。もし、この研究にご参加いただいた後であっても、ご自身の情報や試料を使用しないでほしいというご希望のある場合には、下記の『6. お問い合わせ先』にご連絡いただければ、診療情報や試料を研究に使用することはありません。

2. 研究目的・方法

研究概要：

食道がん、胃がん、大腸がんなどに代表される消化管がんの予後はいまだに不良です。そのため、このようながんに対する治療法は依然として改善の余地があります。本研究では、全身化学療法をうけている、または外科的切除をうける、あるいは今後うける予定であった消化管がん（食道がん、胃がん、小腸がん、大腸がん、肛門管がん、消化管間葉系腫瘍、神経内分泌新生物）の患者さんを対象とし、組織（内視鏡生検検体など）や血液を用いて、がん細胞の増殖や維持等に関わる遺伝子発現、タンパク質発現プロファイリング、免疫学的プロファイリングなどを行い、薬剤感受性および獲得耐性に関与する原因を評価します。本研究により、がん細胞の分子学的特徴の多様性を理解し、がんの生物学的特徴に対応した治療が可能になるだけでなく、将来の患者さんが適切な治療を選ぶ一助となることを目的としています。

研究の意義：

本研究では、全身化学療法、または外科的切除をうける消化管がんの継続的なプロファイリングを行うことで、がん細胞の分子学的特徴の多様性を理解し、新しい治療開発につながる可能性があります。

方法：

本研究は国立がん研究センター中央病院で全身化学療法をうけている、または外科的切除をうける、あるいは今後うける予定であった消化管がん（食道がん、胃がん、小腸がん、大腸がん、肛門管がん、消化管間葉系腫瘍、神経内分泌新生物）の患者さんを対象として、組織・血液を用いた遺伝子発現、タンパク質発現プロファイリング、免疫学的プロファイリング、そして診療録から患者さんの背景（性別、年齢、遠隔転移の有無等）、血液データ、内視鏡所見、放射線画像所見、病理組織学的所見、治療効果、有害事象等について前向きに調査を行います。本研究のために有用と考えられる場合は、国立がん研究センター中央病院に保存されている試料を使用させていただきます。情報収集の作業にあたる人員は研究者である医師です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：上下部内視鏡下生検検体、転移巣の針生検検体、手術によって採取された組織検体、及び血液検体。

情報：診療情報（患者さん背景（性別、年齢、遠隔転移の有無等）、血液データ、内視鏡所見、放射線画像所見、病理組織学的所見、治療効果、有害事象 等）。

4. 外部への試料・情報の提供・公表

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で収集します。対象となる患者さんの識別は、割り振られた研究番号を使って管理するため、患者さんの氏名など個人を特定できる情報が院外にできることはありません（これを匿名化といいます）。また、この研究で得られた結果に関しては学会や論文などで発表することを予定していますが、その場合でも患者さん個人が特定できる情報は含まれません。

※公的データベースへの登録とデータの共有の可能性について

近年、各研究で得られたデータを、より多くの研究者間で共有できるようにするため、公的なデータベースに収集する取り組みが進められています。これによって、新しい技術の開発が進むだけでなく、疾患の原因解明や新たな治療法・予防法の確立が早まる可能性も期待されます。我が国における代表的な公的遺伝子データベースとしては、独立行政法人科学技術振興機構（JST）バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）が運営する「ヒトデータベース」、及び、日本医療研究開発機構の事業で構築されるデータベースである AGD（AMED Genome group sharing Database）、MGeND（Medical Genomics Japan Database）、CANNDs（Controlled shAring of geNome and cliNical Datasets）などが挙げられます。また、我が国における代表的な公的プロテオームデータベースとして「Japan Proteome Standard Repository/Database（jPOST）」があり、最終的な試料解析研究の成果はこの jPOST で公表される可能性もあります。

しかし、その際にも、科学的観点と個人情報保護のための体制などについて厳正な審査を受けて承認された研究者にのみがデータベースを利用でき、またその際に個人が特定されることはありません。

jPOST の運営状況や jPOST から公開されているデータの内容をお知りになりたい場合には、次のウェブサイトをご覧ください。

jPOST データベース：<https://jpostdb.org/>

5. 研究組織

- 国立がん研究センター中央病院 消化管内科 責任者 庄司広和
- 日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野 責任者 本田一文
- 医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト 責任者 足立淳
- 医薬基盤・健康・栄養研究所 AI 健康・医薬研究センター 責任者 水口賢司
- 京都大学薬学研究科製剤機能解析学分野・創薬プロテオミクス分野 責任者 石濱泰
- 大阪大学蛋白質研究所 蛋白質ネットワーク生物学研究部門 計算生物学研究室 責任者 長尾知生子
- 大阪大学 数理・データ科学教育研究センター 責任者 野島陽水

- ・ 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 生物統計部門 特任准教授 責任者 長島健悟
- ・ 九州工業大学 大学院情報工学研究院 生命化学情報工学研究系 責任者 岩田通夫
- ・ 九州工業大学 大学院情報工学研究院 物理情報工学研究系 責任者 飯田緑

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が本研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合、あるいは同意を撤回される場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができないことがあります。公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 創薬標的プロテオミクスプロジェクト

プロジェクトリーダー 足立 淳

電話：072-641-9811 内線 3502

研究責任者

・ 庄司 広和

国立がん研究センター中央病院 消化管内科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511（代表）

FAX：03-3542-3815

・ 本田 一文

日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-5-1

TEL：03-3822-2131